

社会教育行政と 社会教育士の連携

令和6 (2024)年度地域生涯学習活動実践交流セミナー

上川管内社会教育主事会北部ブロック幹事（士別市） 工藤 雅史



本日の流れ

- 共同研究テーマ設定について
- 共同研究について
- 次年度の活動について

第 1 回共同研究



令和5年度のふりかえり

- ・ 研究テーマへの共通認識を持つ
- ・ 地域の課題や可能性について考える

①事業の見直し（取捨選択）

→ 社会の変化に社会教育事業が対応していない

②事業の広域化（市町村の枠を超えた連携）

→ 1つの自治体だけでは維持できない時代

令和6年度共同研究について

令和6年度研究テーマ（2年目／5年計画）

「持続可能な社会の実現に向け、**地域の可能性**を引き出す学びをつくる**社会教育**のあり方」

- ◆**地域の可能性**を引き出す学びって何？
- ◆社会教育「**行政**」っていつからなくなった？



「地域の可能性を引き出す学び」

- ◆人が変わっても継続できる学び
 - 知識をデータ化し、情報共有する仕組み
- ◆行政ではなく地域住民が主体となりつくる学び
 - 社会教育士が主体となった取組
- ◆広域連携の取組
 - 市町村の枠を超えた学習機会

「社会教育」のあり方

以前のテーマは社会教育「行政」だったはず、、、
いつから、なぜ「社会教育」になったんだろう？

社会教育士という称号が生まれ、行政だけが社会教育に関わっているわけじゃない。

ところで、上川北部に社会教育士っているのかな？



「北部ブロック」共同研究

- (1) 講師リストの作成！
- (2) 社会教育士について知る！
- (3) 社会教育主事×社会教育士の研修参加！
- (4) 社会教育士から学ぶ！

①講師リストの作成

- ◆社会教育行政職員の入替わりが早く、知識や経験、技能が継承されていない。
- ◆若手職員が多く、講師を探すノウハウがない。
- ◆市町村の枠を超えた情報共有。

近隣と情報共有することで、誰もが幅広いニーズに適した学びの機会をつくることができる！！



①講師リストの作成

- ①カテゴリー ②講師所属団体 ③講師氏名
- ④講師所在地 ⑤謝金単価 ⑥宿泊費・旅費
- ⑦テーマ ⑧実施市町村 ⑨実施年度
- ⑩対象者 ⑪担当者が感じた評価・感想



①講師リストの作成

- ◆市町村から250件を超える情報集約！
- ◆実際にやってみた結果を踏まえた、担当者からの評価があるため、講師を探しやすい！
- ◆1年ごとに更新予定
- ◆取り扱いルールを設定 → 部外秘

②社会教育士について知る！

◆社会教育士について、よくわからない！

だから必要性を感じない。

◆社会教育主事と社会教育士の違いがわからない。

◆社会教育士がいると、何が良いのだろうか？


じゃあ、学んでみよう！！ ということで・・・

第2回共同研究



グループワーク





感想

- ◆制度については理解したが、必要性についてはまだわからない。
- ◆自分のまちに社会教育士になりたい人やふさわしい人がいるかわからない。
- ◆はじめて社会教育士について知った。

実際に社会教育士から話を聴いてみよう！！

③社会教育主事×社会教育士の研修参加！！

令和6年度（2024年度）社会教育実践型研修会
～「社会教育主事×社会教育士」で広がる地域づくり～

開催日及び会場
第1回：8/30（金）オンライン（Zoom）
第2回：9/13（金）厚真町
 総合福祉センター他
第3回：10/4（金）道民活動センター
 かでの2・7
定員：20名※原則、全日程参加できる方

本研修会では、社会教育人材がチームとなって、北海道厚真町を舞台にした取組を企画・提案していきます。
厚真町では、社会教育主事と社会教育士が連携して、今とこれからの厚真町の教育について、立場を超えて語り合うことができる場を提供するなど、他地域においても参考となる様々な取組を行っています。

学びのポイント



社会教育人材同士が繋がり、学び合う

北海道厚真町における現地学習や取組企画を体験しながら、各地域で活躍している社会教育人材の取組や状況について情報交換をすることができます。



コーディネート能力やプレゼンテーション能力の向上

社会教育人材がチームとなって持続可能な地域づくりに向けた取組を企画するとともに、内容を厚真町での取組に関わっている方々へプレゼンすることにより、コーディネート能力やプレゼンテーション能力の向上を目指します。

プログラム

※詳しいプログラムは開催要項をご覧ください。

- 第1回「地域を知る」
実践発表や説明により、事業企画の見直しを持ちます。
- 第2回「企画する」
課題解決に向けた方策について考えます。
・北海道厚真町における現地学習
・ワークショップ①
- 第3回「提案する」
社会教育人材が連携して実施する事業を企画・提案します。
・ワークショップ②、③
・提案説明

申し込み

- 開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代は参加者の個人負担となります。
- 御参加いただくには、事前の申し込みが必要です。

参加申し込み締切：
令和6年8月5日（月）

参加申込フォーム→




※ 教職員の方は、全国教員研修プラットフォーム（Plant）により申込をしてください。【研修コード：2024教社3・4・5】



第3回共同研究で研修内容を共有






④社会教育士から学ぶ！

- ◆元々、何をしていたのか
- ◆社会教育とのかかわり
- ◆なぜ、社会教育士になったのか
- ◆受講してみてどうだったのか
- ◆今後どのようなことをしていきたいのか

第3回共同研究でトークセッション





社会教育士から

- ◆受講のきっかけは、**教育委員会からの声かけ**
- ◆色々な職種の方と出会うきっかけとなった
- ◆行政ではなく、**民間だからできることがある**
- ◆行政職員が変わっても、**社会教育士は変わらない**
- ◆こういう場に呼ばれることが、変化の一つ



上川管内社会教育・社会体育実践交流セミナー


- ◆社会教育士についての行政説明
- ◆管内社会教育士5人のトークセッション
- ◆社会教育士と社会教育行政職員による
グループディスカッション
- ◆社会教育士も参加してくれた懇親会

上川管内社会教育・社会体育実践交流セミナー



上川管内社会教育・社会体育実践交流セミナー





参加者から

- ◆社会教育士について理解が深まった。
- ◆社会教育士の熱量が伝わった。
- ◆社会教育士と繋がる機会になった。
- ◆パワーをもらい地域と繋がっていきたいと感じた。
- ◆社会教育に関わりのある方々をどう巻き込んでいくかが重要だと感じた。



次年度の活動

- (1) 社会教育士候補へのアプローチ
- (2) 社会教育行政×社会教育士の可能性模索
- (3) 民間の社会教育士が行政職員の懸け橋に！
- (4) 日常からの繋がりづくり！！
- (5) 情報を共有、まちに引きこもらない！
- (6) 社会教育士と共同研究！！

社会教育士との連携の可能性

